

保幼小連携だより No.1

《2014年9月発行》

宗像市子ども部子ども育成課
TEL (0940)36-1214

宗像市では、家庭や地域社会、保育所・幼稚園等すべての機関を対象とした総合的な幼児教育の指針として、『宗像市幼児教育振興プログラム』を策定し、幼児教育の充実に向けた施策を推進しています。その重要施策の1つである保育所・幼稚園・小学校の連携は、子ども達が幼児期に培った発達や学びの成果を小学校へと引き継いでいくための大切な取り組みです。市では、これまで、園児と児童の交流事業や職員間の交流事業など、様々な取り組みを進めてきました。そして、保幼小連携の大切さをもっと多くの方に伝えたいという思いで、今回“保幼小連携だより”を作成しました。

今後、保育所・幼稚園・小学校への配布や市のホームページへの掲載を通じて、周知を図りたいと考えていますので、ぜひご一読ください。



啓発事業

“幼児期の子育てリーフレット”をリニューアルしました

今年7月、保護者向けリーフレット「スムーズな小学校入学に向けて」を作成し、年長児の家庭に配布しました。

今回の改訂版には、従来から掲載している「基本的生活習慣」「遊び・体験」「人とかかわる力」に加えて、小学校の学習面や生活面を意識した内容を新たに盛り込みました。

子どもたちがスムーズに育ちと学びをつなぐためには、保幼小の連携はもちろんですが、家庭の協力が不可欠です。

入学まで残り半年…、家庭でお子さんと一緒に見ていただきながら、少しずつ取り組んでほしいと願っています。



保育士・幼稚園教員研修



研修テーマは…

「保育の力を語る」～保幼小連携に向けて～

市では、毎年、保育所・幼稚園の先生を対象に資質向上のための研修会を開催しています。今年は、西南学院大学の門田理世教授を講師に招いて、7月29日に市役所で実施しました。

35人の先生が参加され、「保幼小連携は、小学校のために、小学校に向けてではなく、その子の人生のために、人間形成のための大切な部分を保育で育てる必要がある。」という門田先生の言葉に、「保育の大切さを実感した。」「責任の重みを感じた。」等、たくさんの感想をいただきました。

新たな取り組み

恵愛保育園、東海大学付属自由ヶ丘幼稚園の保育参観でいただいた意見を参考に、現在、保幼小の先生8人と教育委員会の指導主事、社会教育主事で構成するワーキング会議を立ち上げ、「(仮称)保幼小接続期における学びのめやす」の作成に取り組んでいます。「保幼でここまで育てて、1年生でここから育てていく。」という“めやす”を作成し、来年度、保幼小の先生に配布したい…と考えています。進捗は、次回の連携だよりでお知らせします。

♪今年度の行事予定♪

- ◇第3回保幼小連絡会 平成27年1月22日(木)10時開会 玄海ゆりの樹幼稚園保育参観
- ◇小学校統一入学説明会 平成27年2月12日(木)

日の里西保育園で保育参観を開催

《実施内容》参観オリエンテーション、保育参観（年長クラス見学）、意見交換会
 《参加者》小学校教諭16人 保育所保育士等21人 幼稚園教諭等8人

6月25日に日の里西保育園で保幼小連絡会（保育参観）を開催しました。
 保育参観は、平成25年度から新しくスタートした事業で、保幼小の先生が、保育所や幼稚園での子ども様子を参観し、意見交換を通じて相互に理解を深めていただく機会として、年に2回開催しています。
 今回も、参加者からたくさんのご意見をいただきましたのでご紹介します。



保育所



《読み・書き・計算に取り組む5歳児クラスの子供達》

- 規律がしっかりとできていた。自分の気持ちをはっきり知らせる意味での返事がとても気持ち良かった。小さい時期からの積み重ねが大切だと感じた。
- 保育参観は、現場の先生同士の顔が見える良い機会。いずれは、小学校の参観ができれば良いと思う。
- 各園の保育方針の違いで子どもの育ちに大きな違いがあり、小学校の先生は大変だろうと感じた。
- 様々な保育のあり方を知ることができた。何を大切に子どもを育てていくのかをあらためて考えていく必要性を感じた。
- 保育参観は、保育所・幼稚園でどこまで育てているのかを見てもらう良い機会だと思う。もっとたくさんの先生に見てほしい。

幼稚園

- 年長組をはじめ、各学年の子ども達が先生の話をしっかり聞いている態度が素晴らしかった。
- 話の聞き方、姿勢にとっても驚いた。小学校1年生では席に着けない、話が聞けない、姿勢が悪いという話も聞くので、園の生活の中でしっかり身につけさせて送り出していかなければと感じた。
- 1年生担任の先生方とゆっくり話ができて良かった。



《参観後、グループに分かれて意見交換会を実施》

小学校

- 小さい頃から1日のうちの短い時間でも集中する時間を作ることは大事だと思った。
- 遊びを通して子ども同士の人間関係を作っていくことが大切だと感じた。
- いろいろな幼保のやり方でやってきた子どもが小学校で一緒になることで、とまどいが生まれ、できていたことができなくなってくるのでは。できることを伸ばしてあげたい。
- いろいろな幼稚園・保育所からくるので、小1ギャップを少しでもなくすために市としてここまでは揃えるといった指針があると、入学した時にどの学校も同じ指導ができて困らなくなると思う。
- “手をあげる時は、ひじを伸ばし腕を耳の横に”というのが、とても良かった。小学校でもやってみようと思う。
- 今の子ども達は、体力が低下してきていると思っていたが、小さい頃からしっかり運動することで体力がつくのだと実感した。
- 園で、読み・書き・座っての学習時間等、どのような内容をどの程度しているのかをたくさん教えていただき、とても参考になった。